

WebSAM Network Automation Media v4.0

リリースメモ

第 1 版
2017 年 9 月

日本電気株式会社
RWT01DN300201-1

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- UNIVERGE、および、ProgrammableFlow は日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer および SQL Server は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel は、Intel 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apache、Apache Tomcat、Tomcat は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
- Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Fortinet、FortiGate、FortiClient および FortiGuard は Fortinet, Inc. の登録商標です。その他このガイド内に記載されているフォーティネット製品はフォーティネットの商標です。
- A10 Networks の AX シリーズ、Thunder シリーズは、A10 Networks, Inc.の登録商標です。
- Catalyst、IOS、Cisco IOS、Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。
- F5、F5 Networks、F5 のロゴ、および本文中に記載されている製品名は、米国および他の国における F5 Networks, Inc の商標または登録商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、™ マークは本書に明記しておりません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は、外国為替及び外国貿易法で規定される規制貨物（または役務）に該当することがあります。 その場合、日本国外へ輸出する場合には日本国政府の

輸出許可が必要です。なお、輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

はじめに

日頃より弊社製品をご愛顧いただきありがとうございます。このたび、貴社でご利用いただく、『WebSAM Network Automation Media』について説明させていただきます。

目次

第1章 WebSAM Network Automation について	1
1.1 製品内容	2
1.2 コンポーネント.....	2
第2章 メディア構成	3
2.1 ディレクトリ構成.....	4
2.2 製品ドキュメント(/doc)	4
2.3 各コンポーネントのインストーラ(/fw).....	4
2.4 Network Automation 統合インストーラ(/install)	4
2.5 コードワード申請フォーム(/licenseform)	4
2.6 ライセンス条文(/oss_license)	5
2.7 サンプルスクリプト(/script).....	5
第3章 動作環境	6
第4章 ライセンスについて	7
4.1 ライセンスキーについて	8
4.2 ソフトウェアライセンス情報について.....	8



第1章

WebSAM Network Automation について

目次

1.1 製品内容	2
1.2 コンポーネント	2

1.1 製品内容

Network Automation とは、ネットワーク運用（設計・設定）を自動化し、ネットワーク SE や運用管理者の作業全般の省力化を実現するソフトウェアです。

ヒント

初めてご利用になる方は、『Network Automation ファーストステップガイド』もご一読ください。

Network Automation で実現可能な機能は以下の通りです。

- リソース管理

仮想ロードバランサ、仮想ファイアウォールなどの仮想アプライアンスや、IP アドレス、VLAN ID 等のネットワークリソースをプール化します。プール単位で、リソースの総量、使用量、未使用量、予約済み量などを管理可能です。

- プロビジョニング(オーケストレーション)

L2 スイッチ、ファイアウォール、ロードバランサの VLAN 割当て、フィルタのポリシー設定、ユーザ認証設定など、業務利用に必要な一連のネットワーク設定を自動化します。OpenFlow 技術を活用した「UNIVERGE PF シリーズ」との連携により、複数のデータセンター間のネットワークプロビジョニングの自動化が可能です。

また、企業ネットワークにおいて、個々のネットワーク装置に対するネットワーク設定を自動化します。

- テナントネットワークの可視化

払い出したテナントネットワーク（各種 VLAN、テナントファイアウォール、ロードバランサ等）と、そのネットワークに配置されたサーバの論理構成図が、Network Automation によって自動で作成され、確認できます。レイアウトを自由に編集、保存することもできます。

- モニタリング

ネットワーク機器の構成管理とメッセージの一元管理を行う機能を提供します。

1.2 コンポーネント

Network Automation は以下のコンポーネントから構成されます。

- 必須コンポーネント

- SystemManager G（統合運用監視、サーバ監視）
- NetvisorPro V（ネットワーク監視）

第2章

メディア構成

目次

2.1 ディレクトリ構成.....	4
2.2 製品ドキュメント(/doc)	4
2.3 各コンポーネントのインストーラ(/fw).....	4
2.4 Network Automation 統合インストーラ(/install)	4
2.5 コードワード申請フォーム(/licenseform)	4
2.6 ライセンス条文(/oss_license)	5
2.7 サンプルスクリプト(/script).....	5

2.1 ディレクトリ構成

WebSAM Network Automation Media は1枚のDVDで構成されており、そのディレクトリ構成は以下の通りです。

[Root]		
├ doc		製品ドキュメント
├ fw		各コンポーネントのインストーラ
├ install		Network Automation 統合インストーラ
├ licenseform		コードワード申請フォーム
├ oss_license		ライセンス条文
├ script		サンプルスクリプト
├ NWA_Relememo.pdf		WebSAM Network Automation Media リリースメモ (本書)
└ version.txt		バージョン番号

2.2 製品ドキュメント(/doc)

WebSAM Network Automation および、各コンポーネントのマニュアルが配置されています。

表 2-1 コンポーネント名とドキュメント格納場所

ディレクトリ名	コンポーネント名
doc	製品全体
doc/NvPro	NetvisorPro V
doc/NWDeviceSetup	ネットワーク機器
doc/SysMgrG	SystemManager G

2.3 各コンポーネントのインストーラ(/fw)

SystemManager G、NetvisorPro V のインストール物件が配置されています。通常は、上記の Network Automation 統合インストーラを利用してインストールします。具体的なインストール方法については『Network Automation インストレーションガイド』をご参照ください。

2.4 Network Automation 統合インストーラ(/install)

Network Automation 各機能のインストール物件が配置されています。具体的なインストール方法については『Network Automation インストレーションガイド』をご参照ください。

2.5 コードワード申請フォーム(/licenseform)

SystemManager G、NetvisorPro V に登録するライセンスのコードワードを申請するフォームを格納しています。詳細は本書の「第4章 ライセンスについて (7ページ)」をご参照ください。

2.6 ライセンス条文(/oss_license)

Network Automation で利用するオープンソースソフトウェア等のライセンス条文を格納しています。

2.7 サンプルスクリプト(/script)

クラスタ環境に必要なサービスの起動/停止のサンプルスクリプトを格納しています。

第3章 動作環境

Network Automation の対応プラットフォームおよびシステム要件については、『Network Automation ファーストステップガイド』の『第5章 動作環境／システム要件』をご参照ください。

第4章

ライセンスについて

目次

4.1 ライセンスキーについて.....	8
4.2 ソフトウェアライセンス情報について.....	8

4.1 ライセンスキーについて

Network Automation を利用するには複数のライセンスキーを登録する必要があります。

各インストールガイドに記載された手順でのライセンス登録と、本製品に添付されている『ソフトウェアライセンスキーシート』に記載されたライセンスキーの登録を行ってください。また、ライセンス登録時に「コードワード」の入力が必要となります。コードワードが入力されない場合、ライセンスは登録後1ヶ月間で無効になります。

コードワードは Network Automation 管理サーバ単位に発行いたします。本製品に添付されている『コードワード申請書』を申請書に記載されている宛先まで送付してください。詳細は申請書の記載内容をご覧ください。コードワード申請書はインストール DVD 中の以下のディレクトリに Excel 形式のファイルとして格納されています。

<インストールDVD>:\licenseform\CodewordRequestForm.xls

4.2 ソフトウェアライセンス情報について

本製品では当社が権利を有するソフトウェアの他に、オープンソースソフトウェア等を利用しています。利用しているソフトウェアのライセンス情報はインストール DVD 中の以下のディレクトリに格納されています。

<インストールDVD>:\oss_license

WebSAM Network Automation Media v4.0
リリースメモ

RWT01DN300201-1

2017年9月第1版発行

日本電気株式会社

©NEC Corporation 2017